

社会

【共通問題】

① 世界の地理

- 〈解答〉(1) ア☆☆ (2) ユーロ☆☆ (3) ウ☆☆
(4) エ☆☆ (5) イスラム教☆☆ (6) ウ☆☆
(7) 五大湖周辺には、重工業で用いられる鉄鉱石や石炭などの資源が豊富にあったから。☆☆
(8) アマゾン川☆☆ (9) フィヨルド☆☆
(10) 6667km☆☆
- (1) Aの国はイギリスで、首都はロンドンである。雨温図を見ると、一年を通じて気温の変化が比較的小さく、降水量が安定していることから、ロンドンの気候はアの西岸海洋性気候であるとわかる。ロンドンなど西ヨーロッパの西岸海洋性気候の地域は、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けて、高緯度の割に温暖である。
- (2) Bの国はドイツである。一部のEU加盟国を除き、ドイツを初めとした多くのEU加盟国で、EUの共通通貨であるユーロが使われている。
- (3) Cの国はコートジボワールである。ギニア湾に面するコートジボワールは、フランスの植民地支配から第二次世界大戦後に独立した国で、カカオ豆の生産が盛んに行われている。
ウ(誤) 日本は石油の大半をサウジアラビアやアラブ首長国連邦などペルシャ湾沿岸の国々から輸入している。
- (4) Dの国は中国である。
X(誤) 大豆の生産量の世界第1位はアメリカ合衆国、とうもろこしの生産量の世界第1位はブラジルである。
Y(誤) 1970年代以降、中国では部分的に自由な経済活動が認められたことで経済発展が進んだ。しかし、工業化が進んだ沿海部と工業化がおくれている内陸部の経済格差が大きな問題となっている。
- (5) Eの国はインドネシアである。インドネシアは2億7千万人を超える人口を有し、その国民の大多数がイスラム教徒であるため、世界で最もイスラム教徒が多い国となっている。
- (6) Fの国はオーストラリア、Hの国はブラジルである。オーストラリア・ブラジルは、鉄鉱石の国別産出量、日本の鉄鉱石の輸入額が、ともに第1位・第2位を占めている。
- (7) Gの国はアメリカ合衆国である。資料からは、五大湖の周辺は鉄鉱石や石炭といった重工業で用いられる鉱産資源に恵まれていることが読み取れる。この地域はまた、水運の面でも便利であった。そのため、アメリカ合衆国では、デトロイト(自

動車工業)やピッツバーグ(鉄鋼業)などで重工業が発展したが、日本やドイツなどから安くて質のよい製品が輸入されるようになると、国際的な競争力は弱まっていった。

- (10) Q-R間の経度差は $150 - 90$ より60度である。赤道上の地球1周の距離を4万kmとすると、Q-R間の実際の距離は $40000(\text{km}) \div 360(\text{度}) \times 60(\text{度})$ より6666.6…となり、小数第1位を四捨五入すると、6667kmとなる。

② 室町幕府の滅亡までの歴史

- 〈解答〉(1) 卑弥呼☆☆ (2) 聖徳太子☆☆
(3) ウ☆☆
(4)① イ→ア→エ→ウ☆☆ ② ア☆☆
(5) 軍事や警察☆☆ (6) ア☆☆ (7) 勘合☆☆
(8) 雪舟☆☆ (9) イ☆☆
- (3)X(誤) 古代の日本の律令国家において、地方の特産物を納める税は、成年男性に課せられた調である。租は、与えられた口分田の面積に応じて課された税で、収穫した稲の約3%を納めることとされた。
- (4)① アは平安時代の始まりの年である794年、イは奈良時代の743年、ウは平安時代の1086年、エは同じく平安時代の1016年のできごとである。
- (5) 1185年、源頼朝は平氏の滅亡後に対立した弟の源義経をとらえることを理由に、全国に守護と地頭を置く権限を朝廷に認めさせた。守護は国ごとに置かれ、御家人の統率や犯罪の取り締まりにあたり、軍事・警察の役割をになった。地頭は荘園・公領ごとに置かれ、土地を管理したり年貢を徴収したりした。守護や地頭には御家人が任命された。
- (6)ア(誤) 御家人の権利や義務・訴訟法などを内容とする御成敗式目は、1232年に執権の北条泰時によって定められ、その後も長く武家法の手本とされた。
イ(正) 東大寺は平安時代末期の源平の争乱のときに平氏によって焼き討ちされた。鎌倉時代初めに再建され、このときに運慶らによって金剛力士像がつくられた。
ウ(正) 武家政権を倒して朝廷の勢力を回復しようとしていた後鳥羽上皇は、1221年に挙兵した(承久の乱)。幕府は大軍を派遣して上皇軍を打ち破った後、京都に六波羅探題を設置して朝廷と西国の監視にあたらせた。
エ(正) 13世紀後半、分割相続による所領の細

分化や、元寇の際の負担などで、御家人の生活は苦しくなっていた。幕府は御家人の窮状を救おうと、1297年、永仁の徳政令を発令し、御家人が御家人以外の者に売却したり質入れたりした土地を、無償で返還させることにしたが、かえって混乱を招いた。

- (9) イの応仁の乱は、室町幕府の将軍の後継問題をめぐって有力大名が対立したことから1467年に始まり、10年あまりにわたって続いた。これによって、室町幕府の権威は衰え、約1世紀にわたる戦国時代となった。なお、アは1600年、ウは672年、エは663年に起こった戦いである。

【選択問題】タイプ01

③ 日本の地理

〈解答〉(1)① 液状化現象☆☆ ② 米☆☆

③ 短くて流れが急☆☆

(2)① ウ☆☆ ② 190m☆☆

- (1)① 地盤が強固でない沿岸部などでは、地震によって砂や水が地中から噴出する現象が発生することがある。この現象を液状化現象という。
- ② 表に示された穀物は、新潟県が収穫量が全国第1位、北海道が第2位であるほか、第3～5位は東北地方の県となっていることから、米であるとわかる。
- ③ 日本の河川は世界の大河川に比べると、長さが短く流れが急であり、流域面積が小さいという特徴がある。日本は大部分が温帯の温暖湿潤気候の地域に位置しており、初夏には、北海道を除いた地域で雨が多く降る梅雨の時期を迎える。また、夏から秋には、大雨や強風を伴う台風がしばしば日本列島に接近する。そのため、多くの地域で夏の降水量が多くなっている。短期間に大量の雨が降ると、大量の雨水が河川に流れ込み、河川の水量が急激に増加することによって、河川の氾濫が起こることもある。
- (2)① ア(正) 国土地理院発行の地形図は北を上にしてえがかれる。「塩入駅」の東側に見えるXは交番を表す地図記号である。
- イ(正) 地形図中で、等高線がほとんど見られない場所は平地、等高線が多く引かれている場所は山地や丘陵地である。この地形図では、図の中央のあたりが平地、右下や左上のあたりが山になっており、いずれの地域にも果樹園を表す地図記号である○が見える。

ウ(誤) この地図で多く見られるIIは田を表す地図記号である。畑を表す地図記号はVで、この地形図中には見られない。

- ② aの地点の北側にある△は、測量の際に位置の基準となる三角点の地図記号で、山頂や見晴らしのよい場所などに設けられている。また、三角点の横に記されている「264.3」は、この地点の標高を表しており、その外側には主曲線(細い等高線)と計曲線(太い等高線)が引かれていることがわかる。2万5千分の1の地形図では、主曲線は10mごとに、計曲線は50mごとに引かれているので、三角点とaの地点の間に2本ある計曲線は、三角点から近い順に250m、200mを示している。よって、200mの計曲線より10m低い主曲線上にあるaの地点の標高はおよそ190mである。

【選択問題】タイプ02

③ 安土・桃山時代の歴史

〈解答〉(1) 市場の税を免除して、座の特権を廃止した。☆☆

(2)① 刀狩☆☆ ② 豊臣秀吉☆☆

③ ア☆☆ ④ パスコ=ダ=ガマ☆☆

- (1) 織田信長は、京都に近く、琵琶湖の水運を利用できる交通の要所に安土城を築き、全国統一の拠点とした。織田信長は、安土城下では、商工業の発展をはかる目的で、市場の税を免除し、座の特権を取り上げる楽市・楽座を実施した。他にも、人々の往来や物資の流通を妨げていた関所を廃止するなどの経済政策を行った。
- (2)①・② カードで示された政策は刀狩で、これを実施したのは豊臣秀吉である。豊臣秀吉は、武器を用いた一揆を防ぎ、農民を農業に専念させることを目的にして、刀狩を実施し、農民から刀・弓・槍などの武器を取り上げた。この刀狩や、太閤検地などの政策によって、武士と農民の身分は区分されることになった(兵農分離)。
- ③X(正) 1543年にポルトガル人によって種子島に伝えられた鉄砲は、堺(大阪府)や近江の国友(滋賀県)の刀鍛冶によってつくられるようになり、新しい武器として全国に広まった。
- Y(正) 鉄砲の伝来によってそれまでの戦法が大きく変化した。1575年の長篠の戦いでは、織田信長が足軽鉄砲隊を活用して武田氏の騎馬隊を破った。